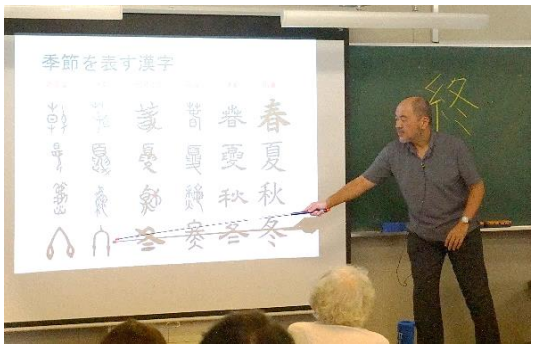
講座番号 7

漢字学・漢字の謎

目的とねらい

漢字の成り立ちから始まり、さまざまな要素を学んでいきたいと思います。
今年度は漢字の成り立ちだけではなく、書き順や「とめ・はね・はらい」、送り仮名や仮名遣い等、漢字の周辺の事情、そして東アジア漢字文化圏の現状について学んでいきましょう。



会　場　河原町学舎

定　員　50名

受講料　10,000円

講　師　久保 裕之（漢字教育士）
立命館大学白川記念東洋文化研究所（文化事業担当）

日　程　全８回　第２木曜日
10:00～12:00

（日程等は一部変更になる場合があります）

①	**漢字の歴史** 「古代文字練習シート」を書きながら、漢字の起源と文字の形の移り変わりを学びます。	4/11　（木）
②	**古代文字を分解する** 複雑な構造の字も、分解すれば実は簡単。パズルを使って理解しましょう。	5/9　（木）
③	**漢字の形と書き方** 異体字の存在、「とめ・はね・はらい」、筆順について、その本質に迫ります。	6/13　（木）
④	**漢字の音と訓** 音読みと訓読みのたどってきた「なんでもあり」の歴史をたどります。	7/11　（木）
⑤	**常用漢字の非常用な意味** 「貿易」「横暴」「運命」など、どうしてこの熟語にこの漢字を使うのかを考えます。	9/12　（木）
⑥	**漢字と送り仮名、仮名遣い** 「大きい」は「おおきい」なのに「王様」は「おうさま」なのはなぜか。仮名遣いと送り仮名の謎に迫ります。	10/10　（木）
⑦	**漢字文化圏①　中華系・朝鮮半島編** 現代の中国や台湾、香港、マカオそして韓国・北朝鮮の漢字事情について。韓国の漢字検定を解いてみましょう。	11/14　（木）
⑧	**漢字文化圏②　ベトナム・消滅漢字系文字・漢字文化圏の交流** かつては漢字を使っていたベトナム、歴史に消え去った契丹・女真・西夏文字、そして漢字・漢文を用いた日本と東アジアの交流の歴史をたどります。	12/12　（木）